

日本泌尿器科学会 ダイバーシティ推進委員会規則

制定 2014年3月24日

第1章 総則

(名称)

第1条 この委員会は、日本泌尿器科学会ダイバーシティ推進委員会（以下「委員会」という。）と称する。

第2章 目的および活動

(目的)

第2条 委員会は、日本泌尿器科学会の正会員の多様化によって生じた問題について検討するとともに、適切なキャリア支援を行うことで多様化を推進し、もって日本泌尿器科学会の発展に期することを目的とする。

(活動)

第3条 委員会は、前条の目的を達成するため、次の活動を行う。

- (1) 女性医師、育児・介護等を行う医師を取り巻く問題の調査活動
- (2) ハラスメントを含む労務環境の改善
- (3) 意思決定の場への多様な人材の登用を推進
- (4) 会員のキャリア支援と会員相互の親睦と情報交換
- (5) 諸外国のダイバーシティに関する情報収集及び交流
- (6) その他、理事会あるいは委員会が必要と認めた事項

第3章 構成および委員

(構成)

第4条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 日本泌尿器科学会の正会員のうちから若干名（ただし理事を含むものとする）。
- (2) その他、委員会が必要と認める者。

(委員の選任)

第5条 委員は、委員長が理事長と合議のうえ推薦し、理事会の議を経て、理事長が委嘱する。

2 委員は、理事改選後可及的速やかに改選する。

(委員の任期)

第6条 委員の任期は、2年とし、再任は妨げない。ただし、原則として、継続して2期を超えることはできない。

2 補充により選出された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長および副委員長)

第7条 委員会に、委員長を置く。委員長は、理事であることとし、理事長が推薦し、理事会の議を経て理事長が任命する。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

- 3 委員長は、委員会における審議決定事項を理事会に報告する。
- 4 委員会に、委員長の指名により、副委員長を置くことができる。
- 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代行する。

第4章 会議

(委員会の開催、議決)

第8条 委員会の開催は委員定数の3分の2以上の出席を必要とする。

ただし、当該議事につき書面をもってあらかじめ意思を表示したものは、出席者とみなす。

2 議事は、出席した委員の過半数の同意によって決し、可否同数のときは、議長が決する。

(委員以外の者の出席)

第9条 委員会が必要と認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

2 理事長は、必要であれば委員会に参加し、意見を述べるることができる。

(庶務)

第10条 委員会の庶務は、日本泌尿器科学会事務局において処理する。

第5章 補則

(規則の変更)

第11条 本規則を変更する場合には、委員会の議を経て、理事会の議決を得なければならない。

附則

(施行期日)

この規則の一部を改訂し、2016年3月30日から施行する。

1 規則書式変更に伴う修正。

2 第9条

委員会の開催の委員定数の変更(過半数→3分の2)。

附則

(施行期日)

この規則の一部を改訂し、2019年9月24日から施行する。

1 男女共同参画委員会をダイバーシティ推進委員会へと名称変更。

2 第2条 名称変更に伴い、目的につき変更。

3 第3条 名称変更に伴い、活動につき変更。

附則

(施行期日)

この規則の一部を改訂し、2023年3月15日から施行する。

1 第6条 任期に原則として、継続して2期を超えることはできないを追記。